

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	放射線利用・原子力基盤技術試験研究推進交付金			担当部局庁	研究開発局		作成責任者
事業開始年度	平成5年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	原子力課		原子力課長 奥 篤史
会計区分	エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計に関する法律施行令 第51条第1項第11号			関係する 計画、通知等	エネルギー基本計画(平成30年7月3日閣議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	エネルギー対策費		
施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は、電源立地対策(発電用施設の設置及び運転の円滑化のための財政上の措置)の一環として、原子力発電施設等の設置されている都道府県における放射線の利用や原子力に係る基盤技術に関する試験研究の推進に要する費用に充てるための交付金を交付することにより、科学技術振興のための研究・開発・利用の基盤整備を図ることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	茨城県の人材育成事業は令和4年度で終了。青森県が令和5年度より人材育成事業を開始。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、原子力発電施設等がその区域内に設置されている都道府県(電源立地地域)の計画と申請に基づき、当該都道府県が実施する放射線利用・原子力基盤技術に係る試験研究事業、施設等整備等事業、設備等整備等事業及び人材育成事業に要する経費に充てるための交付金(交付金額は交付規則において規定)を交付するものである。(補助率:定額)						
事業概要URL	－						
実施方法	補助						
補助率等	定額						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	344	323	47.5	49.6	115.1
		補正予算(B)	－	－	－	－	
						－	
						－	
						－	
						－	
						－	
		前年度から繰越し(C)	－	－	49	－	－
		翌年度へ繰越し(D)	－	▲ 49	－	－	
	予備費等(E)	－	－	－	－		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	344	274	96.5	49.6	115.1	
	執行額(G)		337	270	89		
	執行率(%) =(G)/(F)		98%	99%	92%		
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		98%	84%	187%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	電源立地対策費			交付金事業者の事業計画による		
		電源立地等推進対策交付金	50	115			
		その他	0	0			
	計(A)		49.6	115.1			

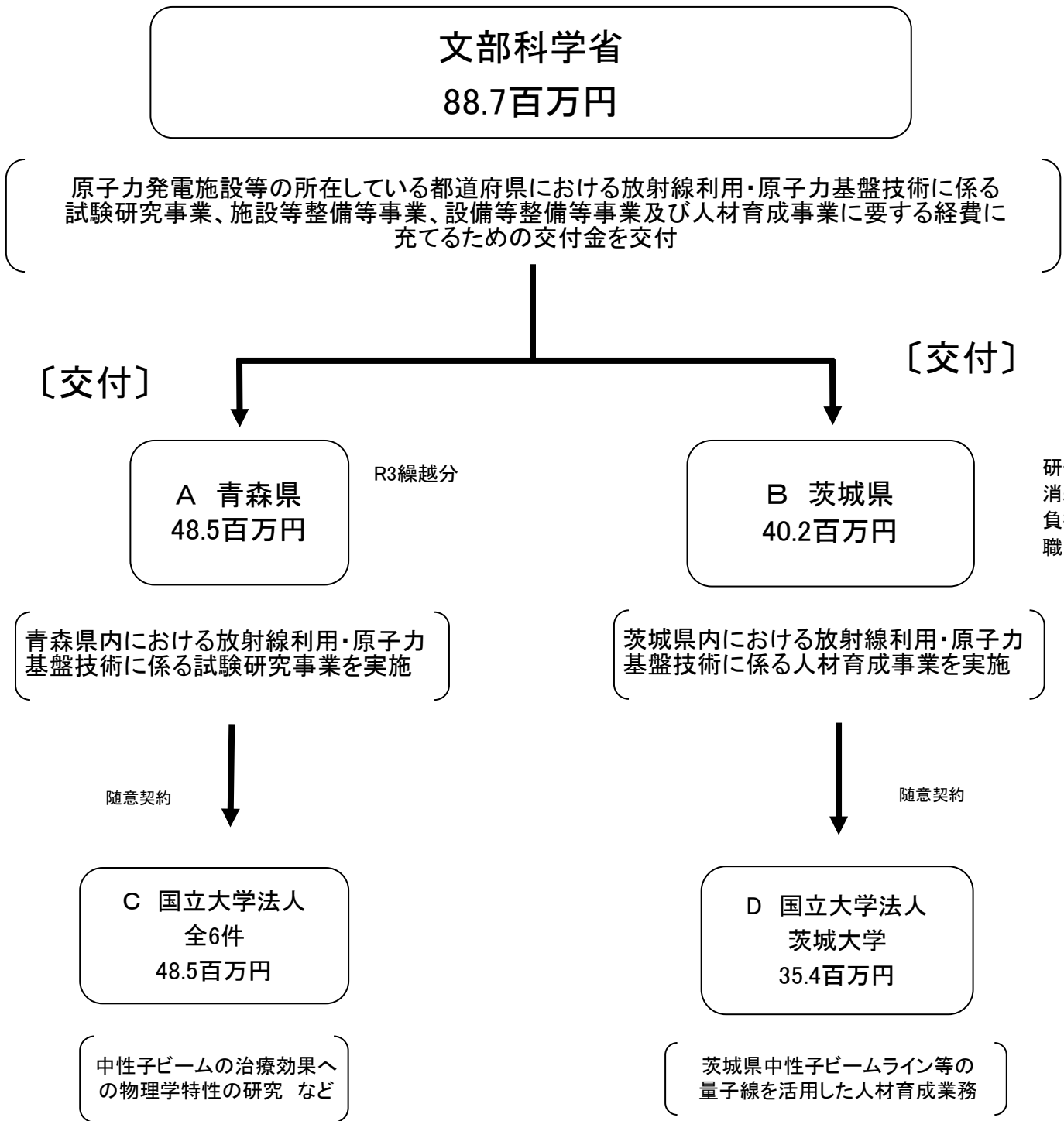
活動内容① (アクティビティ)		原子力発電施設等がその区域内に設置されている都道府県(電源立地地域)の計画と申請に基づき、当該都道府県が実施する放射線利用・原子力基盤技術に係る試験研究事業に要する経費に充てるための資金を交付する。(青森県・令和3年度事業にて試験研究事業を終了)								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		試験研究事業の実施を通して得られた研究成果を公表	試験研究事業における研究成果公表数	活動実績	件	3	9	－	－	－
				当初見込み	件	9	9	－	－	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	得られた成果が今後の地域産業への貢献や関連する研究分野への波及が期待できるものであるか。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		試験研究事業において、量子科学技術の研究開発に取り組むことを通じ、原子力・放射線関連産業の基盤を支えとともに、地域産業の振興に貢献する	外部有識者からなる委員会による事後評価(sabcd)において、成果の県民や地域産業への貢献又は関連する研究分野への波及が期待できる(a評価)以上の評価が得られた件数割合	成果実績	－	－	83	－	－	
				目標値	－	－	83	－	－	
				達成度	%	－	100	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		交付金事業者に確認								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		事業終了済								

活動内容② (アクティビティ)		原子力発電施設等がその区域内に設置されている都道府県(電源立地地域)の計画と申請に基づき、当該都道府県が実施する放射線利用・原子力基盤技術に係る人材育成事業に要する経費に充てるための資金を交付する。(茨城県・令和4年度で終了)								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		人材育成事業の実施 (茨城県・令和4年度で終了)	人材育成事業における研修の実施に係る受講者の延べ数	活動実績	名	140	124	98	-	-
				当初見込み	名	120	80	64	-	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	研修の成果が業務に生かされているか。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		人材育成事業において、中性子等のビーム利用技術に係る研修により、中性子等利用において企業との橋渡しを担う人材の育成を通じて、電源立地地域における科学技術の振興を図る。	研修により中性子等の量子ビーム利用技術を習得した公設試験研究機関職員が、企業等からの量子線関係の相談に対して、研修内容を生かして対応した件数	成果実績	件	61	114	114	-	
				目標値	件	90	90	100	-	
				達成度	%	67.8	126.7	114	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		交付金事業者に確認								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		事業終了済								

活動内容③ (アクティビティ)		原子力発電施設等がその区域内に設置されている都道府県(電源立地地域)の計画と申請に基づき、当該都道府県が実施する放射線利用・原子力基盤技術に係る人材育成事業に要する経費に充てるための資金を交付する。(青森県)									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		人材育成事業の実施 (青森県・令和5年度開始)	人材育成事業における研修 の実施に係る受講者数	活動実績	名	-	-	-	-	-	
				当初見込み	名	-	-	-	10	10	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研修で得た知識を生かし、量子ビームの利用に関しての外部からの問い合わせに対応した案件を利用例(事例)として整備し、量子ビームの利用環境を整えることで、更に知識を深める。									
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		研修受講により量子ビームに関する知 見及びその活用方法を習得する。	外部からの量子ビームの利用に関する 問い合わせに対して、研修受講者 が直接対応し、その結果を利用例 (事例)として整備した件数	成果実績	件	-	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	4		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		交付金事業者を確認									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研修内容を理解し、外部からの問い合わせで実際に発生した課題に対応していくことで総合的に技術を習得させ、外部に対してへの技術指導を個々で担える人材を確立する。									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		青森県内における量子ビームの利用 拡大をするため、県内中小企業との橋 渡しの業務が行える人材を増やす。	研修の受講を経て、量子ビー ムの利用拡大を総合的に担 える人員の人数	成果実績	名	-	-	-	-		
				目標値	名	-	-	-	13		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		交付金事業者を確認									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		-									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

事業所管部局による点検・改善																											
点検結果		本事業は、電源立地対策の一環として、電源立地地域のニーズ等について最も知見を有する都道府県により企画・実施される、放射線利用・原子力基盤技術に係る試験研究の推進に資する事業に対して交付金を交付するものであり、試験研究事業により得られた研究成果は、その中間評価結果において、目標どおりの成果が得られるとともに県民や地域産業への貢献又は関連する研究分野への波及が期待できるとの評価を概ね得ている。また、人材育成事業においては、研修内容を活かした企業等相談への対応件数は順調に推移しており、効果的な事業展開が行われている。なお、交付金の執行に当たっては、交付先である都道府県において、関係法令や交付規則等に基づき、事業の目的に沿った使用がなされている。														目標年度における効果測定に関する評価（令和10年度実施）											
改善の方向性		引き続き、電源立地対策の一環として、交付先である都道府県（電源立地地域）における放射線利用・原子力基盤技術に係る試験研究の推進による科学技術振興を効果的に支援していくとともに、交付規則で提出を義務付けた事業評価報告書を踏まえ、より効果的な事業実施に努めていく。																									
外部有識者の所見																											
外部有識者による点検対象外																											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																											
現状通り		この事業は、事業所管部局による自己点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられる。																									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																											
現状通り		－																									
過去に受けた指摘事項と対応状況		公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																									
		－																									
		上記への対応状況																									
		－																									
		その他の指摘事項																									
		－																									
		上記への対応状況																									
		－																									
備考																											
－																											
関連する過去のレビューシートの事業番号																											
平成23年度	517																										
平成24年度	464																										
平成25年度	281																										
平成26年度	281																										
平成27年度	270																										
平成28年度	267																										
平成29年度	274																										
平成30年度	279																										
令和元年度	文部科学省	－			0273																						
令和2年度	文部科学省				0275																						
令和3年度	2021	文科		20	0297																						
令和4年度	2022	文科		21	0300																						

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	試験研究費	試験研究委託	48.5	人材育成費	研修業務委託、消耗品費等	40.1
				付帯雑費	旅費	0.1
	計		48.5	計		40.2
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

